

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、  
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

### 夏休みが終わりましたね

連日35度を超える毎日が続く夏休みでしたが、充実した毎日をおくることができたでしょうか。やるべきことは全て終わりましたか？

何はともあれ、一件も事故や事件がなかったことが何より嬉しいことです。

夏休みに入る前に、「自主性」や「主体性」をもって過ごしてほしいと話しましたが、いよいよ今日から1学期後半。大きな行事が目白押しの日が始まります。

夏休み前に話した、やるべきことにしっかりと取り組む「自主性」。自ら目的ややることを自己決定して取り組む「主体性」。これからそういう意識がますます必要になります。

### 「意識が変われば、行動が変わる」

といわれています。勉強も部活動も行事も、それに取り組む自分の姿や、やりきった自分の姿などプラスのイメージをもつことが大切です。

特に3年生は、学校で行う全てのことには「最後の・！」という言葉がつく学年です。「中学校でやるべきことの全てをしつかり果たし、自信と誇りをもって卒業していく自分」のイメージをもちながら過ごしていきましょう。

意識を行動につなげるポイントは三つあると思います。

ひとつ目は「何のためにするのか」を考えること。二つ目は「何をしなければならぬか」を考えること。三つ目は「やるべきことの順序」を考えることです。

まだまだ残暑が厳しい日々が続くと思いますが、健康に気をつけながら元気に学校生活をおくりましょう。

### 《中体連県大会やりきりました》

7月24日～25日に行われた中体連県大会で、ソフトテニスと陸上競技の部に出場しました。大変暑い中での競技でしたが一生懸命頑張り、練習の成果を精一杯発揮してくれました。

順位や記録は良い方がいいに決まっていますが、私が何より嬉しいことは、この部員数の少ない学校でも毎年県大会に出場しているという事実です。そして、どの部活動も決して恵まれているとはいえない条件をはねのけて、懸命に自分を輝かせようと努力する姿が素晴らしいと思うのです。子どもたちが輝き、須木中が輝くこの部活動の火を、小学校との連携で決して絶やさぬようにしたいと強く思いました。

### 《須木地区の底力～ふるさとプロジェクト》

8月1日（奈佐木地区は5日）に地区の皆様のお力添えをいただき、ふるさとプロジェクトが開催されました。翌日に地区の行事を控えたお忙しい中、区長様を中心にそれぞれの地区でバラエティに富んだ内容の体験を準備して頂きまして本当にありがとうございました。

「子どもは地域の宝」と言いますが、その地域の宝を支えているのは地域の皆様であることを痛感するとともに、この須木地区の底力を見た思いでした。

小林市の生涯教育のコンセプトである、「自立」「感謝」「貢献」の具体的な姿がこの須木地区で行われていることを改めて感謝しながら、学校でも「地域に貢献できる人づくり」を目指していかなければならないという思いを新たにしました。



【奈佐木地区】



【鳥田町地区】



【永田地区】



【麓地区】



【原・中河間地区】